

沿革（2019年9月7日大会にて配布）

1. 加賀藩研究ネットワークのあゆみ

2009年5月16日

発会。代表に中野節子氏が就任。

発会記念シンポジウム「加賀藩研究ネットワークが目指すものー加賀藩研究の現状とこれからー」を開催。

2009年7月10日

第1回研究例会を開催。

2010年10月16日

2010年度（第1回）大会「藩制を考えるー加賀藩上層部組織構造の検討ー」を開催。

2011年6月4日

会誌『加賀藩研究』第1号を刊行。

2011年9月10日・11日

第1回尾張藩社会研究会との交流会を開催。

2011年9月25日

地域貢献事業として、第1回古文書解読相談会を開催。

2012年8月18日

越中史壇会研究発表大会での交流報告。

2013年7月7日

代表に見瀬和雄氏が就任。

2013年9月12日

『加賀藩研究』第3号合評会を開催。

2014年3月1日・2日

東京学芸大学大石学教授ゼミとの合同研究会を開催。

2014年5月19日

地域の古文書調査（蔵宿・鍋屋文書）を実施

2014年9月6日・7日

三藩（尾張・紀伊・加賀）研究交流会の開催。

2015年7月19日・8月30日

加賀藩歴史講座を開催。

2015年8月9日

やさしい加賀藩講座を開催。

2015年10月

加賀藩研究ネットワーク編『加賀藩武家社会と学問・情報』（岩田書院）を刊行。

2016年9月10日・11日

御三家（尾張・紀伊・水戸）・加賀藩合同研究会の開催。

2017年7月15日～17日

第56回近世史サマーセミナーを主催。

2017年8月5日

親子で学ぶやさしい加賀藩講座を開催。

2019年7月21日

代表に石野友康氏が就任。

2. 大会

2009年5月16日

発会記念シンポジウム：加賀藩研究ネットワークが目指すもの—加賀藩研究の現状とこれから—

基調講演：深谷克己「藩とはなにか—日本の近世化と近代化を考える—」

シンポジウム：「加賀藩研究ネットワークが目指すもの—加賀藩研究の現状とこれから—」

パネリスト：中野節子・深井甚三・見瀬和雄・竹松幸香・堀井美里

コーディネーター：宮下和幸

2010年10月16日

藩制を考える—加賀藩上層部組織構造の検討—

岡嶋大峰「年寄政治の変容から見る加賀藩の藩制成立過程—寛永期の藩政を中心に—」

清水聡「元禄期加賀前田家における諸大夫家臣の再興」

石野友康「江戸中期における加賀藩の年寄について」

2011年10月29日

藩制を考えるII—中後期における加賀藩上層部の動向—

野口朋隆「加賀藩主前田重熙・重靖の諸大夫叙爵をめぐって」

長山直治「奥村栄実の上書類について」

宮下和幸「文久・元治期にみる加賀藩の意思形成過程と政治運動」

2012年10月27日

加賀藩における統治の理念と民衆の要求

丸本由美子「非人小屋と御救小屋—天保飢饉における加賀藩の救恤と身分—」

木越隆三「利常の改作法」から「綱紀の改作法」へ—改作方農政の成立—

2013年11月3日

越中地域社会と加賀藩

野積正吉「石黒信由の測量事業と加賀藩」

堀井美里「藩領地域社会における政治情報—越中国加賀藩領を中心に—」

2014年10月26日

新しい加賀藩研究のために

木越隆三「加賀藩成立期政治史研究の到達点と課題」

中野節子「新しい加賀藩研究のために—文化・思想・学芸—」

宮下和幸「後期の加賀藩」

2015年11月21日

加賀藩研究ネットワーク編『加賀藩武家社会と学問・情報』刊行記念大会

基調講演：高野信治「藩政と領民—アイデンティティと差異化の視点を軸に—」

関連報告：堀井美里「藩と民衆の政治情報活動—領主権力との関係に視点を置いて—」

林亮太「近世大名の藩政と家政—その連関と家老の「家」—」

2016年11月19日

歴史資料の情報化

林正治「歴史資料の情報化とその可能性」

堀井洋「歴史資料の保存と活用に関する考察—大学と企業、双方の視点から—」

堀井美里「旧加賀藩領を中心とする古文書所在及びWEB公開の現状について」

2017年11月18日

福井藩と加賀藩

印牧信明「大坂夏の陣での福井藩の動向—慶長二十年五月六日・七日—」

「福井藩の参勤交代」

岡嶋大峰「大坂の陣における徳川方の動向と加賀藩」

林亮太「加賀前田家の参勤交代と家臣」

2018年12月23日

北越戦争にみる高田藩と加賀藩

荒川将「高田藩と戊辰戦争」

宮下和幸「幕末期加賀藩軍制改革と戊辰戦争への動員」

2019年9月8日

発会10周年記念大会「空間からみる近世武家社会」

基調講演：福田千鶴「空間で読み解く近世社会—表向・奥向の視点から—」

関連報告：越坂裕太「享保改革と献上儀礼の再編成—加賀前田家の表向・奥向に注目して—」

宮下和幸「幕末期加賀藩の政治意思決定と空間」

3. 例会

第1回（2009年7月10日）

ギョーム・カレ「宝永期の新銀流通と金沢の銀座の役割」

堀井洋、林正治「歴史研究における情報システムの役割」

第2回（2009年9月12日）

堀井雅弘「喧嘩・駄込と武士道」

岡嶋大峰「前田利常政権と本多家一元和・寛永期を中心に—」

第3回（2010年1月23日）

野口朋隆「近世大名本分家の再検討—「支藩」という曖昧な用語との関連から—」

第4回（2010年3月13日）

山岸亮「明治期砺波郡種籾産業に対する富山県の政策」

田草川将司「近世後期における朝廷の内部動向—朝幕関係への展望—」

第5回（2010年5月29日）

堀井洋「遍プロジェクトを中心とした歴史資料の情報資源化の取り組み」

林正治「先祖由緒并一類附帳を利用したデータベース構築の試み」

第6回（2010年7月23日）

高澤裕一「改作仕法の構想」

第7回（2010年12月18日）

千葉拓真「京都をめぐる加賀前田家の儀礼と交際—そのシステムと担い手たちを中心に—」

第8回（2011年3月12日）

鷺澤淑子「近世後期における金沢の国学について—田中躬之を中心に—」

第9回（2011年6月4日）

沢田史子「地域歴史資料の観光への活用」

ジェレミー・フィリップス「百万石のレガシー —近代における殿様依存症と都市開発問題—」

第10回（2011年7月23日）

木越隆三「近世城下町における身分制原理と都市原理の相剋—寛文期の金沢を中心に—」

第11回（2011年12月17日）

堀井美里「飛脚と政治情報—加賀藩江戸三度村松家文書を中心に—」

第12回（2012年3月17日）

萩原大輔「「富山様」前田利長考」

第13回（2012年6月16日）

長山直治「加越能文庫「先祖由緒并一類附帳」のデータベース化について」

林正治「加越能文庫「先祖由緒并一類附帳」データベースのためのシステム構築と課題」

堀井洋「「先祖由緒一類附帳」データベース構築を事例とした学術資料の情報資源化に関する考察」

第14回（2013年1月12日）

小酒井達也「近世前期加賀藩前田家における同族大名間の結合関係について」

第15回（2013年7月7日）

林正治「先祖由緒并一類附帳データベース ver. 2」

第16回（2013年12月22日）

近藤真史「加賀藩における有沢兵学の展開」

第17回（2014年3月1日・2日）

東京学芸大学大石学教授ゼミ・加賀藩研究ネットワーク合同研究例会

關谷和也「加賀藩における法事の様態について—高德院二百回忌法要を中心に—」

近藤麻里「明治前期における農村の漢学塾—越後国長善館を事例として—」

番場夏希「近世金沢の寺社地における芝居興行」

小嶋圭「江戸出稼人にもみる藩と江戸の循環経路—加賀藩江戸屋敷の保護機能—」

千葉拓真「前田土佐守家と公家—元禄十一年における竹屋家との縁談一件を事例に—」

小柳はる香「加賀藩にもたらされた洋学の伝播経路についての—考察

—陪臣河野久太郎宛の書状を事例に—」

守屋龍馬「参勤交代を支える人々—享保期の参勤交代を事例に—」

山崎達也「加賀藩改作法施行に関する—考察—首都江戸と加賀藩の視点から—」

第18回（2014年6月15日）

上田長生「寛文・延宝期大坂川口の新田開発と治水政策—大坂船手の改革との関連から—」

第19回（2014年12月23日）

堀井雅弘「近世武士の武人性と武士道についての試論—加賀藩における喧嘩の事例から—」

第20回（2015年3月15日）

荒木澄子「石川郡押野組村々百姓の均等な持高について」

第21回（2015年6月28日）

深井甚三「加賀藩の行列をめぐって—尊経閣文庫蔵「参勤交代行列図」の紹介を兼ねて—」

第22回（2016年3月27日）

大西泰正「十七世紀前半における加賀藩前田家と八丈島宇喜多—類」

第23回（2016年7月23日）

岡嶋大峰「加越能文庫による大坂冬の陣の検討—真田丸の戦いを中心として—」

第24回（2016年12月23日）

上田長生「近世前中期の郡中運営と十村—能登口郡を中心に—」

第25回（2017年2月14日）

武井弘一「文化期の気候と加賀藩農政」

第26回（2017年3月17日）

村井愛香「近世後期加賀藩における地域社会と十村—制度廃止期にみる—」

第27回（2017年7月1日）

横山恭子「近世中後期加越能地域の朝鮮人御用の拡大」

第28回（2017年10月28日）

高本裕子「近世における佐渡金銀山の研究—経営と地域社会を中心に—」

第29回（2017年12月16日）

鎌田康平「七日市藩と加賀藩—前田利孝とその子孫—」

寺尾承子「幕末期加賀藩の政治動向—文久二年における京都の情報収集と対応—」

第30回（2018年2月17日）

萩原大輔「前田利長菩提所の成立過程」

千葉拓真「近世後期における加賀藩と勝興寺—天保年間の勝興寺後住一件をめぐって—」

第31回（2018年7月1日）

南保信之「加賀藩の米問屋とは」

林亮太「加賀前田家年寄の相続・役職就任時における儀礼—村井長貞を事例に—」

第32回（2019年1月26日）

上田長生「加賀藩御蔵の基礎的研究」

第 33 回 (2019 年 3 月 23 日)

堀井雅弘「刃傷当事者への視線」

安土絢「加賀藩と異国船—新潟開港問題におけるイギリス測量船来航を中心に—」

第 34 回 (2019 年 7 月 21 日)

岡嶋大峰「前田家の姓の変遷について」

4. 交流会その他 (加賀藩研究ネットワークからの報告者のみ)

2011 年 9 月 10 日

尾張藩研究会との交流会 (第 1 回)

中野節子「加賀藩後期藩札をめぐる藩社会の断面」

2012 年 8 月 18 日

平成 24 年度越中史壇会研究発表大会

宮下和幸「加賀藩と北越戦争」

2012 年 9 月 8 日

尾張藩研究会との交流会 (第 2 回)

岡嶋大峰「初期加賀藩における大身家臣の変容—年寄政治形成という視点から—」

林亮太「加賀藩年寄の世襲について」

2013 年 9 月 7 日

尾張藩研究会交流会 (第 3 回)

小酒井達也「近世前期加賀藩の対幕府対応について—江戸詰上層家臣の変遷と幕臣との交際から見ると—」

浅井雅「幕府・諸藩の儒者登用の動向—17・18 世紀を中心として—」

2014 年 8 月 24 日

平成 26 年度越中史壇会研究発表大会

近藤真史「加賀藩における有沢兵学の展開」

2014 年 9 月 6 日

三藩 (尾張・紀伊・加賀) 研究交流会 (第 4 回)

長倉信祐「近世加賀藩における日蓮宗富士派の展開—近世富士派の臨終行儀を中心に—」

2015 年 7 月 19 日

加賀藩歴史講座 (第 1 回)

石野友康「加賀藩重臣の職務をさぐる—八家を中心に—」

2015 年 8 月 23 日

平成 27 年度越中史壇会研究発表大会

堀井美里「近世地域社会と政治情報—越中国を事例として—」

2015年8月30日

加賀藩歴史講座（第2回）

木越隆三「近世の知行制と加賀藩」

2015年9月5日

三藩（尾張・紀伊・加賀）研究交流会（第5回）

竹松幸香「加賀藩上級武士の茶の湯受容について」

2016年9月10日

御三家（尾張・紀伊・水戸）・加賀藩合同研究会（第6回）

千葉拓真「近世公武婚姻の一側面—元禄11年における加賀前田家と二条家の縁組について—」

2017年8月20日

平成29年度越中史壇会研究発表大会

岡嶋大峰「慶長期にいたる前田家中の分裂と統合」

2017年9月2日

御三家（尾張・紀伊・水戸）・加賀藩合同研究会（第7回）

仲泉剛「近世後期における加賀藩勤番武士の食生活—食習慣・食好み・物価の問題を中心に—」

2018年9月8日

御三家（尾張・紀伊・水戸）・加賀藩合同研究会（第8回）

木越隆三「国持大名の初期藩政改革—加賀藩と尾張藩の比較—」

2019年8月18日

令和元年度越中史壇会研究発表大会

上田長生「加賀藩十村の身分意識」

2019年9月7日

御三家（尾張・紀伊・水戸）・加賀藩合同研究会（第9回）

千葉拓真「近世公家名目金の地域的展開—加賀藩領と鳥取藩領を事例に—」

5. 会誌『加賀藩研究』

第1号（2011年6月）

講演録 深谷克己「藩とはなにか—日本の近世化と近代化を考える—」

論文 中野節子「加賀藩後期の藩札」

論文 千葉拓真「京都をめぐる加賀藩前田家の儀礼と交際—そのシステムと担い手を中心に—」

研究ノート 近藤真史「前田土佐守家資料館蔵『時務説』—寛政期加賀藩年寄の統治観について—」

書評 長山直治「清水隆久著『百万石と一百姓—学農村松標左衛門の生涯—』」

第2号 (2012年6月)

- 論文 岡嶋大峰「戦場における大名前田家の統制と加賀藩士の自律性—大坂の陣を事例として—」
論文 鷺澤淑子「加賀藩明倫堂における「国学」の導入について」
研究ノート 深井甚三「金沢藩中級武士遠藤家の家訓成立とその特徴」
書評と展望 木越隆三「新しい十村研究のために—武部保人氏の十村三部作に寄せて—」

第3号 (2013年6月)

- 論文 宮下和幸「文久、元治期における加賀藩の意思決定システムと政治運動」
論文 堀井美里「政治情報にみる飛脚の意義—幕末期加賀藩を事例として—」
研究ノート 千葉拓真「加賀藩京都藩邸の構成員と機能—その職務規程と業務報告を通じて—」
書評 竹松幸香「池田仁子著『金沢と加賀藩町場の生活文化』」

第4号 (2014年6月)

- 論文 林亮太「加賀藩年寄奥村宗家の養子からみる家関係と家意識」
研究ノート 堀井雅弘「喧嘩追掛物役の成立とその意義」
研究ノート 林正治「先祖由緒并—類附帳データベースの利用状況」
書評 上田長生「中野節子著『加賀藩の流通経済と城下町金沢』」
書評 宮下和幸「長山直治著『加賀藩を考える 藩主・海運・金沢町』」
追悼 木越隆三「青木美智男さんの逝去を悼む」

第5号 (2015年6月)

- 論文 木越隆三「年寄連署状と初期加賀藩における藩公儀の形成」
論文 堀井雅弘「近世武士の喧嘩と武人性」
新刊紹介 沢田史子「中野節子著『女はいつからやさしくなくなったか—江戸の女性史』」
追悼 石野友康「長山直治氏から学ぶこと」

第6号 (2016年6月)

- 論文 野口朋隆「加賀藩主前田重熙・重靖の諸大夫叙爵をめぐって—部屋住時代の官位拝領—」
講演録 高野信治「藩政と領民—アイデンティティと差異化の視点を軸に—」
研究ノート 深井甚三「金沢の蔵宿鍋屋の経営」
書評 林亮太「池田仁子著『近世金沢の医療と医家』」
書評 小酒井達也「大石学監修『首都江戸と加賀藩—江戸から地域へ・地域から江戸へ』」
書評 岸野俊彦「加賀藩研究ネットワーク編『加賀藩武家社会と学問・情報』」
新刊紹介 村井愛香「武井弘一著『江戸日本の転換点—水田の激増は何をもたらしたか』」
追悼 見瀬和雄「高澤裕一氏の死を悼む」

第7号 (2017年6月)

- 論文 宮下和幸「幕末期加賀藩における藩上層部の相克—「西洋流」受容をめぐる論議—」
論文 千葉拓真「近世公武婚姻の一側面—元禄十一年における加賀前田家と二条家との縁組について—」

- 書評 中村只吾「深井甚三著『加賀藩の都市の研究』」
- 書評 池田仁子「竹松幸香著『近世金沢の出版』」
- 新刊紹介 堀井雅弘「長山直治氏追悼集刊行委員会編『加賀藩研究を切り拓く—長山直治氏追悼論集』」
- 新刊紹介 岡嶋大峰「大西泰正編『前田利家・利長』」

第8号 (2018年6月)

- 論文 鎌田康平「近世初・前期の七日市藩と加賀藩—前田利孝・利意を中心として—」
- 論文 奥田直文「石動山・二上山の神職集団について」
- 書評 木越隆三「丸本由美子著『加賀藩救恤考—非人小屋の成立と限界—』」
- 新刊紹介 岩田裕斗「萩原大輔著『武者の覚え 戦国越中の覇者・佐々成政』」

第9号 (2019年7月)

- 論文 木越隆三「前田利常隠居と藩主光高の公儀御用」
- 論文 奥田直文「近世前期における石動山の山伏支配について」
- 研究ノート 林亮太 「加賀前田家年寄の家督相続・役職就任時における儀礼
—儀礼的行為からみられる身分差に注目して—」
- 研究ノート 南保信之「金沢城下消費米流通にかかわる商人たち—流通の多様性—」
- 新刊紹介 岡嶋大峰「高澤裕一著『加賀藩の社会と政治』」
- 新刊紹介 竹松幸香「中野節子著『近世金沢の銀座商人
—魚問屋、のこぎり商い、薬種業、そして銀座役』」